

校友会 史跡クラブ 行程表

日程	11月22日(木)	《雨天決行》
活動場所	神奈川県伊勢原市(大山詣で)	
集合時間	8時15分(時間厳守)	
集合場所	東武東上線池袋駅南口改札前	
費用概算	交通費：¥2,624(IC他) 昼食代：¥1,200	
行程概要	(午前) ・JR池袋 8:20 ~ JR新宿 8:25 ・小田急新宿 8:43 ~ 伊勢原 9:46 (伊勢原からバス、ケーブルカーを乗り継ぎ、大山寺・大山阿夫利神社へ) (昼食) こま参道内の蕎麦店予約済み	

※・大山は神奈川県NO1の紅葉スポットで、当日は例年ですと紅葉シーズンの最盛期にあたり、バス・ケーブルカー共に大行列・渋滞となります。それゆえ伊勢原到着以降のタイムスケジュールは、成り行きとなります。

- ・時間が許せば、川越にもゆかりの深い太田道灌の墓のある「洞昌院」や、伊勢原の名前の由来となった「伊勢原大神宮」等に立ち寄りたいてと考えております。

(帰途予定) 伊勢原 15:48 ~小田急新宿~ JR池袋 17:07
池袋にて解散

●大山阿夫利神社と大山寺

大山は丹沢山系の東端にある標高1,252mの独立峰で、山頂からは縄文土器も出土している。古くから山岳信仰の対象とされ、山上によく雲や霧が生じて雨を降らすことが多く「あめふり山」と呼ばれ、雨乞いの霊山としても知られている。阿夫利神社は社伝によると、今から2,200年余り前の第10代崇神天皇の御世の創建とされ、古来より相模国はもとより関東総鎮護の崇敬を集めている。

天平勝宝7年(755)に東大寺別当の良弁により、聖武天皇の勅願寺として大山寺が開創され、奈良時代以降は神仏習合の考えから修験道が隆盛を迎え、不動明王を本尊とし阿夫利神社の別当寺とされた。

鎌倉時代・室町時代には幕府の庇護を受けたが、幕府の衰退と共に衰え、江戸時代に入ると徳川家康は保護を与える一方で、大山寺の改革を断行した。修験者や妻帯僧を下山させ、清僧のみを山上に住持させた。江戸中期になると豊作や商売繁盛等の現世利益を祈願する民衆による、「大山詣で」が盛んとなり、関東各地で大山講が組織され、最盛期には年間数十万人が挙って大山参詣に訪れたという。家康の改革で下山した修験者らは、「御師」として参詣者の先導役を務めた。明治初期の本によると大山講の総数は、1万5千700もあり、総檀家数は約70万軒と記載されている。また参詣の為の「大山道」も整備された(著名なものとしては国道246号のベースとなった道)。

明治の神仏分離・廃仏毀釈により、大山中腹にあった大山寺(不動堂)は破却され、そこに現在の阿夫利神社下社が創られた。明治18年(1885)になって現在の位置に寺が再興され、大正4年(1915)になって大山寺の寺号が復活した。

※ 持ち物等歩きやすい靴・健康保険証・雨具・カメラ・飲料・スイカ/パスモ等
連絡先 丸田純一